

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	職員全体で認知症への理解を深め、声掛けや対応の統一を図る必要がある。職員次第で利用者の表情が違っている時がある。	利用者の笑顔や想いを引き出せるコミュニケーション力を職員全員が持ち合わせており、お互いの気づきから実践や対応につなげる事が出来る。 結果、利用者の望む生活へと近づけていく。	・管理者及び計画作成者が中心となり、各職員の出来る事、出来ない事を把握する。 ・1日の気づきや気になっている事、要望等を聞き、個人の意見から全体へつなげていく。	6ヶ月
2	10	家族等からの意見、要望を聞く、システムを構築していない。	家族等の意見、要望を取り入れ、利用者が安心して穏やかに暮らせるように対応していく。 利用者や家族等との信頼関係を今以上に築きあげていく。	・家族等に対し、グループホームに対する意見、要望を聞き出すアンケートを実施する。結果の中から家族の思いを理解しケアにつなげていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。